

デーリー東北 2019年(令和元年)6月6日(木曜日)(12)

三陸海岸の植生^{など} 研究成果8件報告

八工大、八高専准教授ら

八戸

青森県工業技術教育振興会(理事長・長谷川明八戸工業大学長)主催の2018年度「若手研究者研究助成成果報告会」が5月30日、八戸工業大で開かれ、同大の准教授らが取り組んだ研究について発表した。

県内の工業技術に関する研究や教育の振興を図り、地域社会の科学技

術の発展に貢献するのが目的。18年度は同大や八戸高専の准教授や講師が、個人や複数で実施した研究9件に助成した。

今回は8件の研究が発表された。同大工学部生命環境科学科の鮎川恵理准教授は「三陸海岸北部の海岸植生の維持に関する環境要因について」と題し報告。津波や高潮による自然かく乱、草刈りによる人為的なかく乱の影響を調査した。

鮎川准教授は「希少種を意識し、季節変化に応じた選択的な刈り取りが必要」などと結論を述べた。

(稲村安莉)



研究成果を報告する鮎川恵理准教授